

責任者	総合政策研究科委員長	作成部局	総合政策研究科
-----	------------	------	---------

A-1	総合政策研究科の理念	変更の有無	
	「自然と人間の共生、人間と人間の共生」	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	
A-2	総合政策研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)	総合政策研究科の目的(Webサイト上)	変更の有無
	<p>総合政策研究科は、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を基本理念として、現代社会の諸問題を多様な視点から総合的に把握するための高度な課題発見能力と政策立案能力を実践的に涵養することを通じて、社会の各分野で指導的役割を果たしうる高度専門的職業人の養成と、併せて研究者として十分な専門的能力を有する人材を育成することを目的とする。</p> <p>この目的を達成するため、前期課程においては、政策立案・評価に関する理論的な理解を深めるとともに、課題発見・課題解決に向けた複眼的な研究手法を習得する。さらに、それらと並行して、具体的な政策課題について分野の異なる複数の教員が担当する課題研究に取り組むことで、実践的かつ高度な政策立案能力を持つ人材を養成する。</p> <p>後期課程においては、前期課程において獲得した理論的視点、複眼的研究手法及び実践的訓練を土台として、現代社会の諸課題を解明し課題解決のための斬新な知を生み出すことのできる専門研究者を輩出するために、博士学位取得に至るプロセスを明示した上で学位論文作成に向けた研究指導を行なう。</p>	<p>社会の各分野で指導的役割を果たしうる高度専門的職業人の養成と、併せて研究者として十分な専門的能力を有する人材の育成を図ることを目的としている。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	めざす学生像	変更の有無	
	高度なコミュニケーション能力と専門的な知識を有し、深い洞察力により政策課題を分析し、その上で採るべき政策を科学的な視点から提案することができる学生を育成する。そして、その能力を生かして、将来的に、社会の各分野あるいは学術分野で指導的な役割を果たす人材となることを目指す。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)	変更の有無	
	<p>修士学位は、課程の修了要件を満たし、修士論文の審査に合格した学生に授与されます。修了要件を満たすためには、所定の期間以上在籍し、所定の単位を修得することに加え、リサーチ・コンソーシアム及びリサーチ・フェアでの発表と、外国語(英語)学力の認定が求められます。</p> <p>博士学位は、諸政策の融合領域における研究課題の発見、企画、推進能力を修得した、国際的に通用する自立した研究者あるいは専門的実務家として認められることが、学位授与の要件となります。そのためには、サーベイ論文の作成、諸学会等での研究報告、審査付学術論文(あるいはそれに相当する著作)の公刊、概要論文の審査での合格が求められます。これらをふまえて執筆された博士論文について公聴会および審査委員会を実施し、さらに研究科委員会での合否判定を経て学位が授与されます。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	

A-1.「理念」、A-2.「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認 チェック欄

【確認1】	「総合政策研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 総合政策研究科の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「総合政策研究科の目的(Web サイト上)」は、A-2「総合政策研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「総合政策研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「総合政策研究科の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認6】	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	学部長室委員会の審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年3月
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/>成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/>計画なし
	検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2015年11月6日

責任者	総合政策研究科委員長	作成部局	総合政策研究科
-----	------------	------	---------

A-3

教育研究目標		変更の有無
目標1	(タイトル) 多様な分野の知識に基づく高度な政策分析力の獲得	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 多様な分野の知識に基づく文献、資料の読解力を高めると同時に、データ分析能力を高める。そして、各種の政策課題において必要な情報を抽出するとともに、将来を予測し、さらにその不確実性をも評価したうえでの確かな政策判断を行うための能力を形成する。	
目標2	(タイトル) 実務上の専門的技術の獲得	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 総合政策研究科は、高度専門職業人の養成のためのプログラムを用意する。そのために必須となる各専門分野に関して、十分なレベルの知識と技術を提供し、卒業生が実社会で即活躍ができるような教育を実施する。	
目標3	(タイトル) 高度なコミュニケーション能力の獲得	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 語学力とともに、議論やディベート、プレゼンテーションの能力を向上させ、国際的な会議などで、自身の考えを的確かつ論理的に説明するための力を養う。	
目標4	(タイトル) 社会に資する研究等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 国際化に伴う異なる価値観の衝突、人口問題、環境問題など現代社会が抱える諸問題に対して、研究を通して社会に貢献することを狙う。そのために必要となる知識と技術を、教員と学生はともに研鑽し、修士論文、博士論文はもとより、学会論文、著作などとおして、その成果を社会に還元する。	

A-3. 「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認

チェック欄

【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年3月
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2015年11月6日

責任者	総合政策研究科委員長	作成部局	総合政策研究科
-----	------------	------	---------

A-4

教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー;CP)	変更の有無
<p>博士課程前期課程では、ヒューマン・エコロジーの理念に基づき、専門的知識と課題分析力・政策提案力を身につけた、国際社会で活躍できる専門家の養成を目指します。通常の講義と演習に加えて、複数の教員が担当・運営する「リサーチ・プロジェクト」を実施し、ひとつの課題を異なる視点からとらえて政策の編集・統合を試みるという主体的かつ学際的な研究・フィールドワークの機会を提供します。また、プレゼンテーション能力やディスカッション能力の開発のために、産官学民による共同研究体制としてのリサーチ・コンソーシアムや、学部と共催するリサーチ・フェアでの発表を義務付けます。なお、一級建築士受験資格取得を希望する学生のために、二年間の実務経験として認定される講義及び演習科目・インターンシップ科目を開講します。</p> <p>博士課程後期課程では、高度な専門性とゆたかな独創性を兼ね備えた、国際社会で通用する研究・教育者あるいは専門的実務家の養成を目指します。研究指導と論文指導を基本的カリキュラムとし、在学中からの諸学会での研究発表を支援します。与えられた研究課題を受動的にこなすのではなく、自ら研究テーマを設定し、研究のチームリーダーとしても行動できる、研究企画力や総合力の獲得も目指します。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-4. 教育課程の編成・実施方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認			チェック欄
【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)	
	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。	
	決定・判断時期	毎年3月	
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録	
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない	
	検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。	
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。	
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()		

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2015年11月6日

責任者	総合政策研究科委員長	作成部局	総合政策研究科
-----	------------	------	---------

A-5

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p>社会の各分野で指導的役割を果たしうる高度専門的職業人の育成、あるいは研究者として十分な専門的能力を有する人材の育成という目的に向け、必要となる専門知識と応用力、適切な語学力を有することを前提に、専門、文化や立場が異なる多様な学生を受け入れることにより、相互に助け学びあうことができる教育研究環境を実現します。入学に際して必要となる学力としては、幅広い知識と高度な専門性、データ分析やプレゼンテーションなどの応用力に加えて、外国語運用能力を有していることが望まれます。また学生の資質としては、特に社会への幅広い関心とリーダーシップ、対話を通して他者の考えを十分に理解する力を有していることが求められます。学生は入学後、本研究科の理念である「自然と人間の共生、人間と人間の共生」への理解を深め、各自の専門領域において必要となる能力を身に着けるとともに、異なる専門領域についても幅広い学びを探求し、それらの学びを高度な次元で結合し、研究論文という形で取りまとめることが期待されます。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年3月
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2015年11月6日

責任者	総合政策研究科委員長	作成部局	総合政策研究科
-----	------------	------	---------

A-6

学生支援に関する方針	変更の有無
総合政策研究科では、学生の研究成果を発表する場を以下のように独自に設けており、研究の進捗状況の把握や、成果へのフィードバックを得る機会があります。また、学生の活発な研究活動および研究成果の学外における発表を促すため、学会発表補助を行っています。 1. 「KGPS Review」(院生論文集):「KGPS Review」は、本研究科生の論文形式による研究成果発表紀要です。 2. 院生ディスカッション・ペーパー(DP):リサーチ・プロジェクトや修士論文の途中経過などを研究成果として冊子にして発行し、関係者に配布します。 3. リサーチ・コンソーシアム:産官学民の共同研究体制である「リサーチ・コンソーシアム」では、本研究科生・教員・企業研究員などが各自の研究成果を公表します。前期課程の学生には、修士論文提出のための要件として発表が義務付けられています。 4. リサーチ・フェア:学生たちの「知的交流の場」としての学術版学祭である「リサーチ・フェア」では、本学部生・本研究科生・他大学生・高校生などが各自の研究成果を競います。前期課程の学生には、修士論文提出のための要件として発表が義務付けられています。 5. ポリシー・ワークショップ/ドーナツ・アワー:月に1回、研究成果を報告する場として、大学院共同研究室にて「ポリシー・ワークショップ」を開催します。本研究科生、修了生や学外者がスピーカーとなります。また「ドーナツ・アワー」では、教員や院生同士で軽食を取りながら、発表者の報告を聞き、議論します。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
修学支援 学生の能力に応じた補習や補充教育は主に指導教員の判断の下で適宜実施しています。また、学生の修学状況については、指導教員および職員が確認を行い把握することで、必要に応じた対応を行います。奨学金等の経済的支援や障がい学生に対する修学支援については、学生の事情に合わせて全学的体制の下で行っています。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
生活支援 冊子の配布等により各種ハラスメント防止に向けた取り組みを行い、相談窓口を設定しています。学生からのその他の相談に対しては、指導教員および職員が必要に応じて対応します。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
進路支援 主に指導教員および職員が必要に応じて対応します。また、全学的体制の下、キャリアセンター主催のガイダンスを行っています。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認 チェック欄

【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (下記のことが明らかであることに留意する。) <修学支援> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対応 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <生活支援> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み </div>	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
適切性の検証体制を明確にしているか	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">責任主体・組織(承認・決裁)</td> <td>研究科委員会(議長:研究科委員長)</td> </tr> <tr> <td>検証手続き</td> <td>学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。</td> </tr> <tr> <td>決定・判断時期</td> <td>毎年3月</td> </tr> <tr> <td>検証エビデンス</td> <td>研究科委員会・議事録</td> </tr> </table>	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。	決定・判断時期	毎年3月	検証エビデンス	研究科委員会・議事録	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない				
責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)													
検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。													
決定・判断時期	毎年3月													
検証エビデンス	研究科委員会・議事録													
検証プロセスを適切に機能させているか	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">検証方法(指標、測定方法など)</td> <td>学部自己評価委員会において検証していく。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td><input type="checkbox"/>成果あり(内容:)</td> <td style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/>成果なし</td> </tr> <tr> <td>改善・伸長に向けた</td> <td><input type="checkbox"/>計画あり(内容:)</td> <td style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/>計画なし</td> </tr> <tr> <td>検証エビデンス</td> <td colspan="2">学部自己評価委員会の議事録を作成していく。</td> </tr> </table>	検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。		成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果なし	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画なし	検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。		
検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。													
成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果なし												
改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画なし												
検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。													
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()													

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日：2015年11月6日

責任者	総合政策研究科委員長	作成部局	総合政策研究科
-----	------------	------	---------

A-7

教員像	変更の有無
総合政策研究科では、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を基本理念として、複雑かつ高度化した現代社会に潜む諸問題を発見し、問題解決および政策立案能力をもった人材を養成することを目的としている。そのため、カリキュラムにおいても政治学、経済学、社会学等の個別的学問領域を横断的かつ重層的に構造化した教育課程を編成している。こうした学部の理念、およびカリキュラム編成の方針に基づいた教育研究活動が行える教員を採用する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

無しの場合どのように設定するか？	責任主体・組織	
	設定方法	
	設定見込み時期	

教員組織の編制方針	変更の有無
(1) 多様かつ専門性に富んだカリキュラムにそって、総合政策研究科の教育目的に応じた教育・研究活動にふさわしい人材の確保に努める。 (2) コミュニケーション力ならびにプレゼンテーション力を養い、日本語／英語双方で表現できる学生を育てるため、海外での研究・教育経験を有する人材の確保に努める。 (3) 実学性・実践性を高めるため、国際機関、政府機関、自治体、民間企業等で多様な実務経験をもった人材から、教育目的にふさわしい教員の確保に努める。 (4) 教員採用にあたっては、国籍・性別を問わず、広く人材を選ぶ。 (5) 教員採用にあたっては、教員組織の年齢構成が特定の年齢層に偏らないように配慮する。 (6) 多様な教育の強化をめざして、特別客員教員や任期制教員の採用に努める。 (7) 英語教育の強化をめざして、外国人常勤講師の確保に努める。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-7. 教員像、教員組織の編制方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認 チェック欄

【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年3月
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録
検証プロセスを適切に機能させているか	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない	
	検証方法(指標、測定方法など)	学部自己評価委員会において検証していく。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	学部自己評価委員会の議事録を作成していく。
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	